

'00全日本ダートトライアル
選手権第5戦

CMSC
札幌

宝田芳浩選手

AIV
クラス

逆転勝利!

全日本ダートトライアル選手権の第5戦「第24回DCCSダートトライアル」が、7月9日(日)栃木県黒磯市の丸和オートランド那須で開催されました。天候は晴れ。しかしコースの各所ではウェット状態になるほどの散水が施され、タイヤの選択が非常に難しい一戦となりました。AIVクラスは第1ヒートでトップを記録したCMSC栃木の赤羽政幸選手を、CMSC札幌の宝田芳浩選手が第2ヒートで逆転。今シーズン初の優勝を飾りました。また宝田選手を筆頭に、CMSC勢は1位から5位までを独占する活躍ぶりを見せました。



第2ヒートで逆転。会心の走りを見せた宝田選手。

CMSC札幌 宝田芳浩選手のコメント

全日本も中盤に入り、まだ今シーズン優勝がなく何としても勝ちたいイベントでした。しかし今回はいつもとは違いシード選手からの逆スタート。さらにA-1前で散水が入るので前スタートの我々にはかなりのハンデがありました。散水と砂利も残っていたので、1本目には思いきってウェットタイヤを装着。スタッフは驚きましたが、私には自信がありました。結果、1本目は3位に。2本目は路面状態も良くなり、散水も後半だけなのでタイヤを替えて一発勝負を

かけました。スタートから今までに感じられないほどのトラクションがあり、スピードの乗りも良く中盤までは完璧。後半は散水によるウェットスピンに気をつけていたのですが心配していたほどではなく、

ゴール手前のテクニカルセクションも無難にこなしてゴールできました。けっこう満足いく走りのできた今シーズンの初優勝です。これで2000年も優勝争いに加わることができました。後半戦も頑張ります。

'00スーパー耐久シリーズ
第5戦 クラス2

CMSC
山形

小川日出生選手、十勝で3連覇!!

岡山・TIサーキット英田で行われた6月10日(土)・11日(日)の第4戦は、昨年のチャンピオンチームCMSC山形・小川日出生選手組が2位に入賞。続く7月21日(金)~23日(日)北海道・十勝インターナシヨ

ナルスピードウェイの第5戦でも、小川日出生選手組が序盤からリード。アクシデントで一時は順位を落としたものの着実に挽回し、同大会3連覇の快挙を達成しました。

CMSC山形 小川日出生選手のコメント

今シーズンは豪雨の鈴鹿で1戦リタイアしてしまったので、十勝24時間を欠かす訳にはいきませんでした。どうしても勝ってポイントを獲得しなければ、シリーズ優勝が絶望的になるからです。過去、十勝では2連勝している実績もあるので、マシンを念入りにセッティングして万全を施しました。当日の走りはベースも速く、雨を心配していた向きもありましたが、わがチームとしては予定通りでした。夜も明け、スタートから18時間は何のトラブルも起きず、トップを譲ることなく無難に過ぎました。しかしその後、コース上で野ウサギと接触。インタークーラーのホースを破損して、順位をクラス4位まで落としてしまいましたが、懸命な走り残り1時間には40秒差でトップに返り咲きました。チェッカーを受けた時は、2年前と同じ運命の7秒差。史上初の3連覇はドライバーとチームメカニック全員の力で勝ち取ったものです。多くの方々の協力のもと、今まで続けてきて本当に良かったと思っています。ラリーアート様をはじめ、応援してくれたCMSC会員に皆さんにもお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



激しい追い上げで見事大会3連覇を飾った小川日出生選手。

CMSC
広島

岩根つもる選手が

CI
クラス

王座目前の4勝目を獲得!

自然のバトルが繰り広げられるダート選手権。注目は、CIクラスのCMSC広島・岩根つもる選手。第5戦、第6戦と2連勝し、早くも王座が視野に入ってきました。また、第1戦からつねに上位に入賞し第3戦で優勝したAIVクラスのCMSC群馬・荒井信介選手は、後半戦も快進撃。第6戦、第7戦と連続で2位の座を獲得しています。シリーズポイントも2位に急浮上。また、第7戦のLクラスではCMSC福島の左藤幸子選手が念願の優勝、今後の追い上げが十分に期待されます。ほかにも、CMSCの選手たちがシリーズ終盤へ向けて続々と上位に進出してきました。

CIクラス
CMSC広島
岩根つもる選手
第5戦 優勝
第6戦 優勝
第7戦 優勝



AIIIクラス CMSC大阪 藤原雄一郎選手



第5戦 5位 / 第6戦 6位

AIVクラス CMSC群馬 荒井信介選手



第6戦 2位 / 第7戦 2位

AIVクラス CMSC栃木 赤羽政幸選手



第5戦 2位 / 第6戦 5位

AIVクラス CMSC岐阜 三枝光博選手



第5戦 3位

AIVクラス CMSC大阪 吉村 修選手



第5戦 4位

AIVクラス CMSC群馬 古澤稔久選手



第5戦 5位

CIクラス CMSC福島 渡辺公善選手



第7戦 5位

CIIIクラス CMSC座間 秋間忠之選手



第6戦 5位 / 第7戦 6位

Dクラス CMSC広島 河内 渉選手



第5戦 3位 / 第6戦 5位

Lクラス CMSC福島 佐藤幸子選手



第7戦 優勝

Lクラス CMSC座間 小出久美子選手



第5戦 2位 / 第6戦 3位

Lクラス CMSC千葉 赤松祐子選手



第5戦 3位

第5戦:7月9日(日)栃木・丸和オートランド那須、第6戦:7月30日(日)北海道・オートスポーツランドスナガワ、第7戦:9月3日(日)宮城・仙台ハイランドオフロードコース

CMSC
道北

鎌田豊選手

B
クラス

第8戦優勝で今季3勝目!

シリーズも中盤を迎えて、各選手の争いも激しくなってきた全日本ラリー。BクラスCMSC道北の田豊選手は、第6戦にマシントラブルでリタイアするものの第8戦に優勝。シリーズポイントトップの座に立ちました。また第8戦では、CMSC秋田の近藤隆行選手が2位に入り、CMSC勢が1位2位を独占。CクラスではCMSC愛知の松井孝夫選手、CMSC埼玉の田口幸宏選手が今年も上位に食い込む健闘を見せています。

Bクラス
CMSC道北
鎌田 豊選手
第8戦 優勝



Bクラス CMSC秋田 近藤隆行選手



第8戦 2位

写真左、CMSC秋田の近藤隆行選手(左)、ナビのCMSC秋田、須田力選手。

Cクラス CMSC埼玉 田口幸宏選手



第7戦 3位

Cクラス CMSC愛知 松井孝夫選手



第6戦 5位 / 第8戦 4位

第6戦:6月10日(土)~11日(日) モントレー2000 開催地 群馬県、第7戦:6月30日(金)~7月2日(日) ノースアタックラリー2000 開催地 北海道、第8戦:7月22日(土)~23日(日) ツール・ド・東北 開催地/青森